

昼神温泉リニア新時代構想

リニア新時代に輝き続ける昼神温泉の実現のために

2020年(令和2年)10月

阿智村・(株)阿智☆昼神観光局

はじめに

“リニア新時代”に昼神温泉が目指す姿は？
通過地でなく目的地として「選ばれる存在」に

- ★令和2年2月 昼神温泉将来構想2027(素案)公表
- ～3月 パブリックコメント
- ★新たな危機（新型コロナウイルス）への対策



「昼神温泉リニア新時代構想」

はじめに

昼神温泉将来構想2027(素案)からの変更点

○名称の変更

リニア中央新幹線の開業時期の遅れの懸念

→→→「2027」の使用を取りやめ

「昼神温泉リニア新時代構想」に改称

今後の改定(バージョンアップ)を想定 Ver.1.0 を付記

○パブリックコメント(30団体・個人 207件)の反映

○新型コロナウイルスの影響を踏まえた追記

○人口減少社会における期待と責務等の拡充

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

第3章 リニア新時代への備え

第4・5章 リニア新時代に目指す姿・戦略・視点・具体策

第6・7章 実現に向けた各主体の役割・推進体制・進め方

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

歩み

1 - 1 昼神温泉の歴史と果たしてきた役割

1 - 2 経済・社会構造の大変革の到来

期待

1 - 3 人口減少・超高齢社会における期待・果たすべき責務

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

1 - 1 昼神温泉の歴史と果たしてきた役割

- ・昭和48年 国鉄中津川線ボーリング調査で温泉湧出
- ・高度成長期・中央道延伸が後押し
 - 有数の温泉地に成長
 - 伊那谷の宿泊機能の役割、観光の牽引役

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

1 - 2 経済・社会構造の大変革の到来

- ・バブル経済崩壊
→→→長い低迷の時代に突入
- ・人口減少・超高齢社会の到来
- ・度重なる大災害の発生 ・未知の感染症への対応
→→→価値観の大転換

潮流を的確・前向きに捉えた柔軟かつ積極的挑戦

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

昼神温泉の収容人数と入込客数の推移



第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

1-3 人口減少・超高齢社会における 昼神温泉への期待・果たすべき責務

- ①地域の主要産業としての役割
- ②人口減少社会における役割
- ③村の行財政への寄与

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

1-3 人口減少・超高齢社会における 昼神温泉への期待・果たすべき責務

①地域の主要産業としての役割

南信州年間観光消費額 約100億円

うち阿智村 約 60億円

昼神温泉 約 40億円

(従業者数 約660人)

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

1 - 3 人口減少・超高齢社会における 昼神温泉への期待・果たすべき責務

②人口減少社会における役割

人口減少 = “地域内消費の縮小”

→→→観光誘客で地域内消費確保

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

観光誘客による消費確保の考え方

区 分		人 数	1人当たり消費額
国内定住者(2017年7月1日)		1億2,679万人	125万円/年
訪日外国人旅行者(2017年)		2,689万人	15万3,921円/回
国内旅行者(2017年)	宿 泊	3億2,333万人	4万9,732円/回
	日帰り	3億2,418万人	1万5,526円/回

交流（観光）人口増大による経済効果(観光庁資料より)

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

観光誘客による消費確保の考え方

国内定住者

1人当たり
年間消費額

125万円

=

訪日外国人旅行者

15.39万円/人 × 8人

OR

=

国内旅行者（宿泊）

4.97万円/人 × 25人

OR

=

国内旅行者（日帰り）

1.55万円/人 × 81人

減少に
歯止めかからず

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

観光誘客による消費確保の考え方

地域への誘客促進



域内消費の確保



将来に渡る健全な地域経済の下支え

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

1 - 3 人口減少・超高齢社会における 昼神温泉への期待・果たすべき責務

③村の行財政への寄与

→→→行政運営の財源確保上
欠くことのできない重要な存在

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

阿智村財政への昼神温泉の寄与状況

表1

単位:円・%

会計区分	歳入種別	歳入額(a)		昼神温泉（宿泊施設） 寄与度 (b/a×100)
			うち 昼神温泉（宿泊施設） 関連(b)	
一般会計	法人住民税	63,042,200	3,056,200	4.8
	固定資産税	408,589,884	57,550,800	14.1
	個人住民税	223,438,833	13,839,400	6.2
	入湯税	44,564,100	41,999,850	94.2
	温泉使用料	32,390,784	32,390,784	100.0
	計	772,025,801	148,837,034	19.3

平成30年度決算(調定額)より

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

阿智村財政への昼神温泉の寄与状況

表2

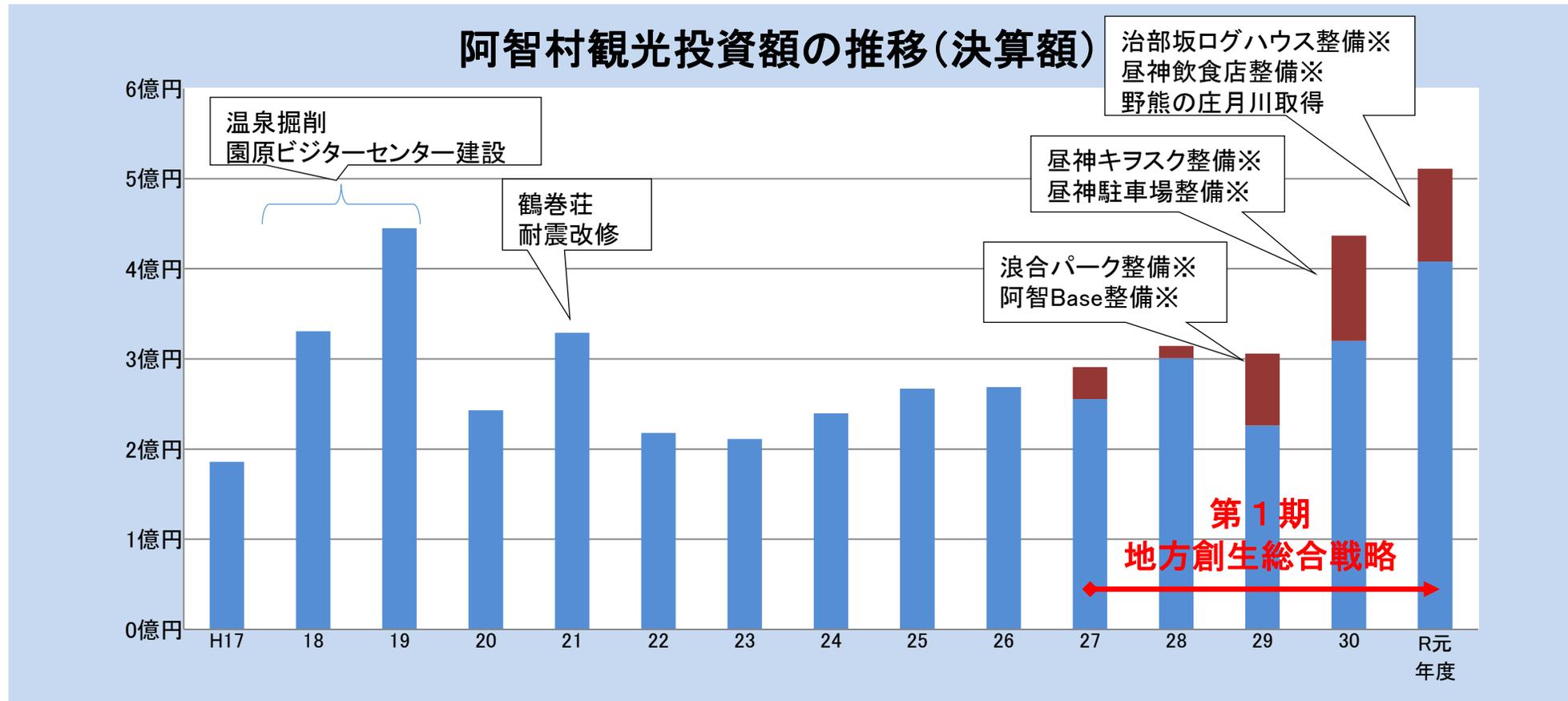
単位:円・%

会計区分	歳入種別	歳入額(a)		昼神温泉（宿泊施設） 寄与度 (b/a×100)
			うち 昼神温泉（宿泊施設） 関連(b)	
下水道事業 特別会計	使用料	89,887,387	40,494,865	45.1
公営企業会計 (水道事業)	使用料	153,172,932	39,809,102	26.0
表1・2 合計 (一般・特別・企業会計)		1,015,086,120	229,141,001	22.6

平成30年度決算(調定額)より

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

観光を基軸とした地方創生の展開



第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

1-3 人口減少・超高齢社会における 昼神温泉への期待・果たすべき責務

④ 村民福祉の一翼

→→→ 身近に温泉のある

健康で豊かな村民生活の堅持

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

第3章 リニア新時代への備え

第4・5章 リニア新時代に目指す姿・戦略・視点・具体策

第6・7章 実現に向けた各主体の役割・推進体制・進め方

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

課題

2-1 社会・経済情勢、価値観の変容

2-2 多様化する価値観・需要とのミスマッチ

2-3 社会的要請と責任

2-4 現実のものとなりつつある経営危機

《新たな試練》未知の感染症への対応

強み

2-5 昼神温泉浮上の光明

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-1 社会・経済情勢、価値観の変容

- 実感の乏しい景気回復、所得格差拡大
- 医療・介護や社会保障費の負担増など構造的課題
- 人口減少・超高齢化の進展、消費の縮小、人材不足による経済活動の減退
- 技術革新、デジタル化、通信技術の進展、価値観の多様化

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

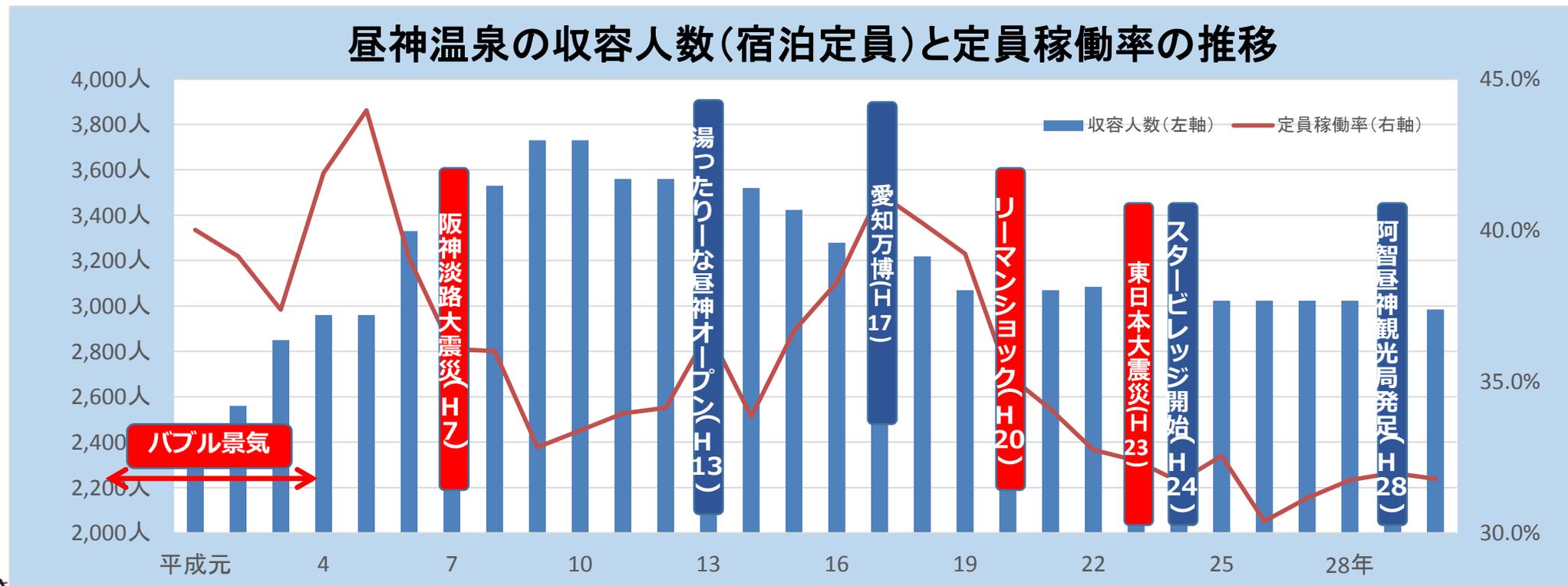
2-2 多様化する価値観・需要とのミスマッチ

- ① 団体から個人へ（旅行単位の小規模化・単泊化）
- ② 訪日外国人旅行者への対応
- ③ 観光客の嗜好の変化（“もの”から“こと”へ）
- ④ 情報源・判断材料の多様化（SNS・口コミ等）
- ⑤ 若者の車離れ

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-2 多様化する価値観・需要とのミスマッチ

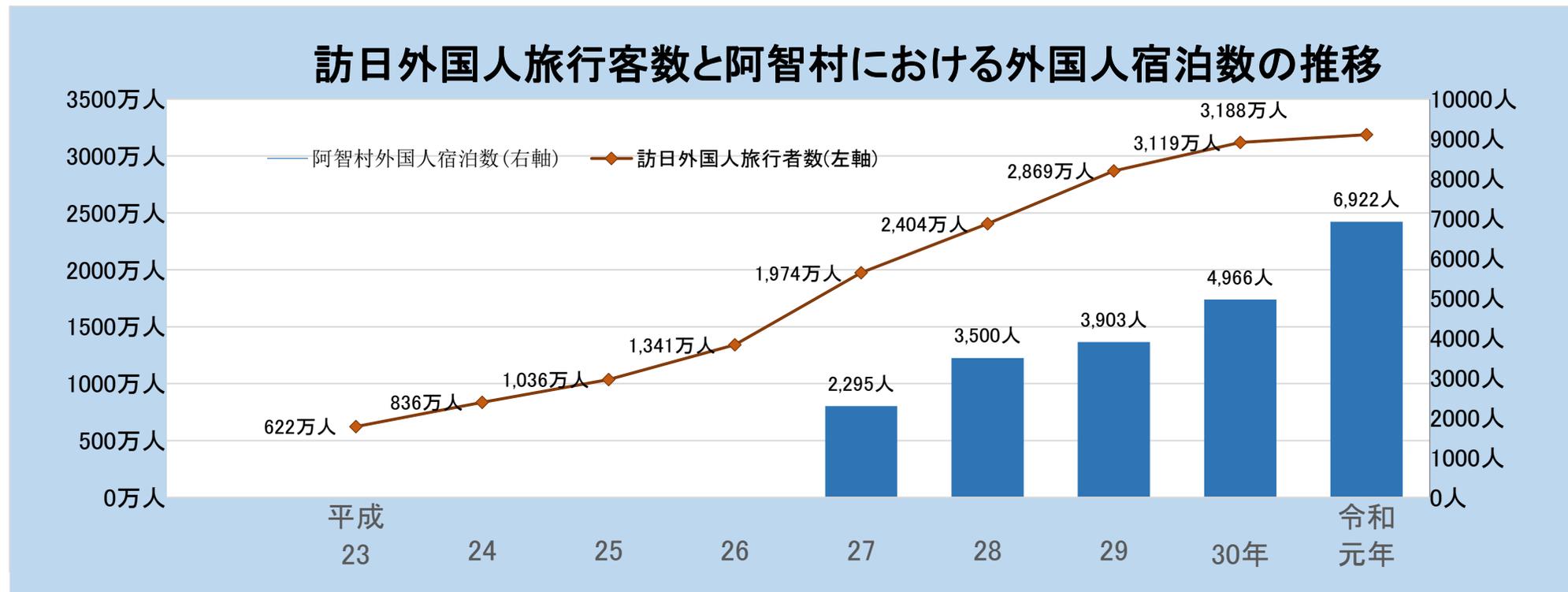
① 団体から個人へ（旅行単位の小規模化・単泊化）



第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-2 多様化する価値観・需要とのミスマッチ

② 訪日外国人旅行者への対応（Afterコロナの展望）



第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-2 多様化する価値観・需要とのミスマッチ

③観光客の嗜好の変化（“もの”から“こと”へ）

× 何処にでもある“もの”



- そこでしか味わえない体験
 - そこにしかない歴史・文化・風土
- } “こと”

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-2 多様化する価値観・需要とのミスマッチ

④情報源・判断材料の多様化

- 宿泊予約のネット化
- 情報源の多様化

HP → ブログ → SNS等の口コミ

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-2 多様化する価値観・需要とのミスマッチ

⑤若者の車離れ

- ・維持費が嵩むマイカー所有を避ける傾向
 - 自前の移動手段を持たない若者の増加
 - 公共交通が整わない地方に向かわせる
動機づけのハードルは上昇

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-3 社会的要請と責任

- ①環境への配慮
- ②福祉・人権意識の高まり
- ③防災対策・災害時対応

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-3 社会的要請と責任

①環境への配慮

- 世界の年平均気温は年々上昇
- 多発する台風や豪雨による災害

2019年（令和元年）の台風19号

2020年7月豪雨災害

→→→長野県に所在する観光地として

温暖化対策など環境問題への真摯な取組

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-3 社会的要請と責任

②福祉・人権意識の高まり

- ・社会全体が多様な価値観を認め、尊重し、自分らしく生き、暮らし、働ける社会実現の要請

→→→高い人権意識のもと

バリアフリー、ユニバーサルデザイン、

ジェンダーフリー、多文化共生など

高い水準でハード・ソフトの両面からの備え

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-3 社会的要請と責任

③防災対策・災害時対応

- 多発する豪雨災害
- 東海地震等巨大地震発生の可能性

→→→ 繁忙期には2,000人にも及ぶ宿泊者や従業員の安全をいかに確保するか

ハード・ソフトの両面から抜本対策

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-4 現実のものとなりつつある経営危機

出湯から半世紀が経過→浮き彫りになる経営危機

- ①施設の老朽化
- ②慢性的な人手不足
- ③繁忙期と閑散期の存在
- ④負の連鎖

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-4 現実のものとなりつつある経営危機

①施設の老朽化

- ・昭和50年代から平成初期にかけて建築
- ・旅行単位の小規模化等の需要への対応も必要

→→→大規模な修繕やリニューアルが喫緊



売上減少下にあって投資は進まず

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-4 現実のものとなりつつある経営危機

②慢性的な人手不足

- 早朝から深夜に及ぶ不規則な労働

→→→人材確保に苦慮

とりわけ繁忙期に必要な短期雇用の確保

- 旅行単位の少規模化

→→→個別対応の増加による手間の増大

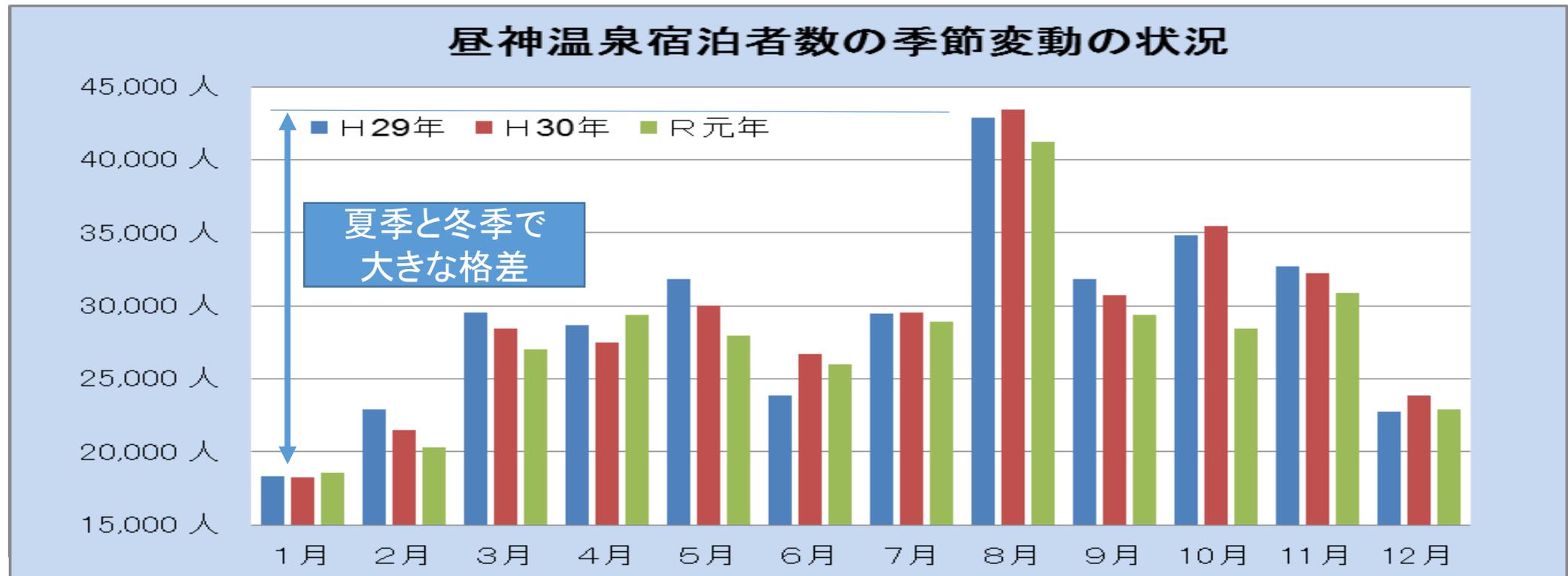
- 人口減少、働き盛り世代の減少

→→→恒常的な人手不足に拍車→働き方改革に逆行する環境

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-4 現実のものとなりつつある経営危機

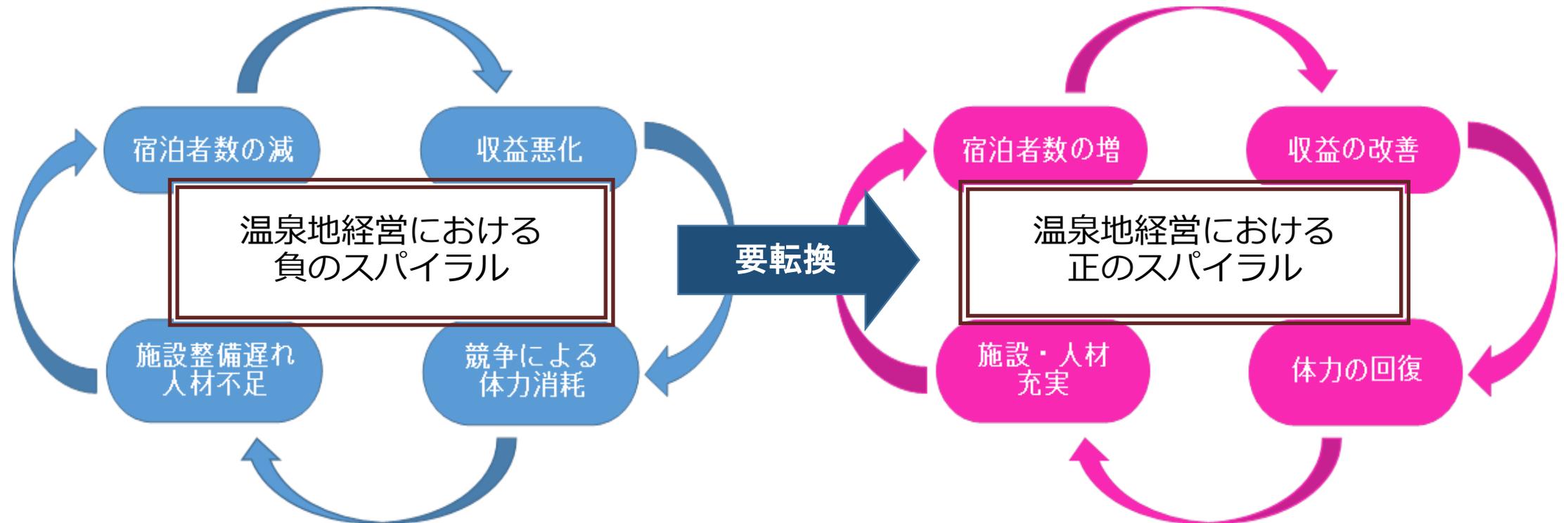
③ 繁忙期と閑散期の存在



第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-4 現実のものとなりつつある経営危機

④負の連鎖



第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-4 《新たな試練》 未知の感染症への対応

- ・新型コロナウイルスの拡大

- 全産業に渡る経営上の危機

- Withコロナ・Afterコロナを見据えた対応

- 新たな生活様式への転換

- 新たな価値観による観光モデルの構築など

第2章 昼神温泉の現状（課題と**強み**）

2-5 昼神温泉浮上の光明：成功体験

- ①日本一の花桃の里
- ②スタービレッジ
- ③蒙開拓平和記念館

第2章 昼神温泉の現状（課題と**強み**）

2-5 昼神温泉浮上の光明：成功体験

① 日本一の花桃の里

- 阿智村全体で約1万本
- 阿智村の代名詞として広く認知
- 毎年約20万人が観覧
- 住民の長年の協働が育んだ
唯一無二の地域ブランド



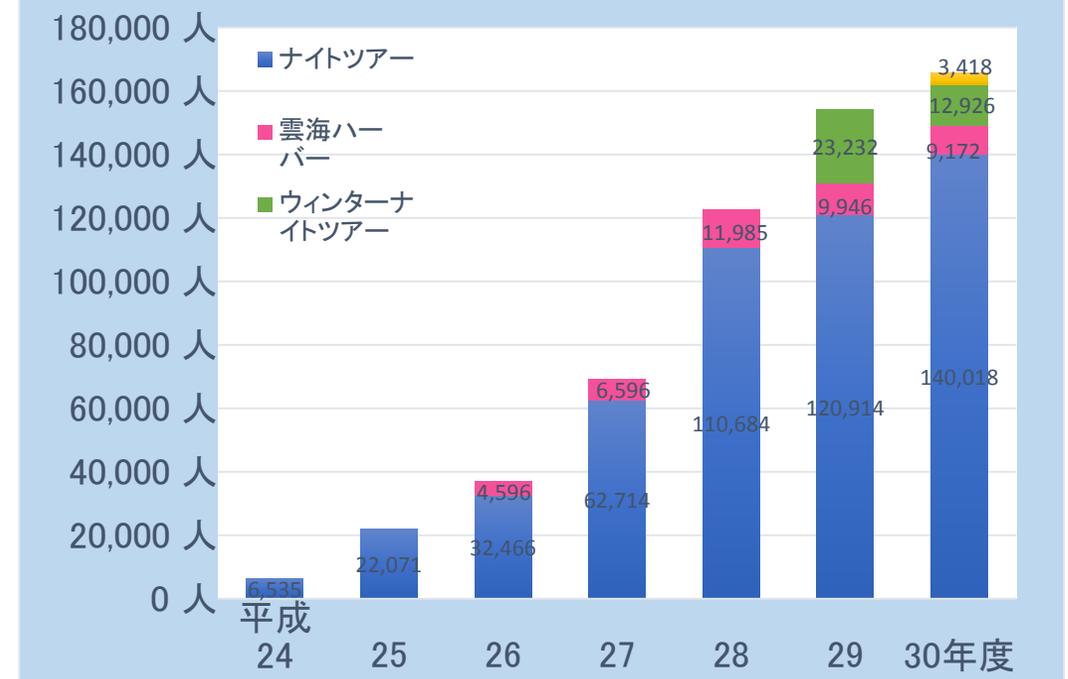
第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

2-5 昼神温泉浮上の光明：成功体験

②スタービレッジ

- ・環境省認定「日本一の星空」に着目
- ・官民協働による「スタービレッジ事業」を展開
- ・阿智村の認知度を全国区に押し上げ、多くの集客に成功

スタービレッジ入込者数の推移



第2章 昼神温泉の現状（課題と**強み**）

2-5 昼神温泉浮上の光明：成功体験

日本一の**星空** × **世界記録**

・令和元年5月世界記録に挑戦

「同時に天体観測を行った最多
人数記録：2,640人」を樹立

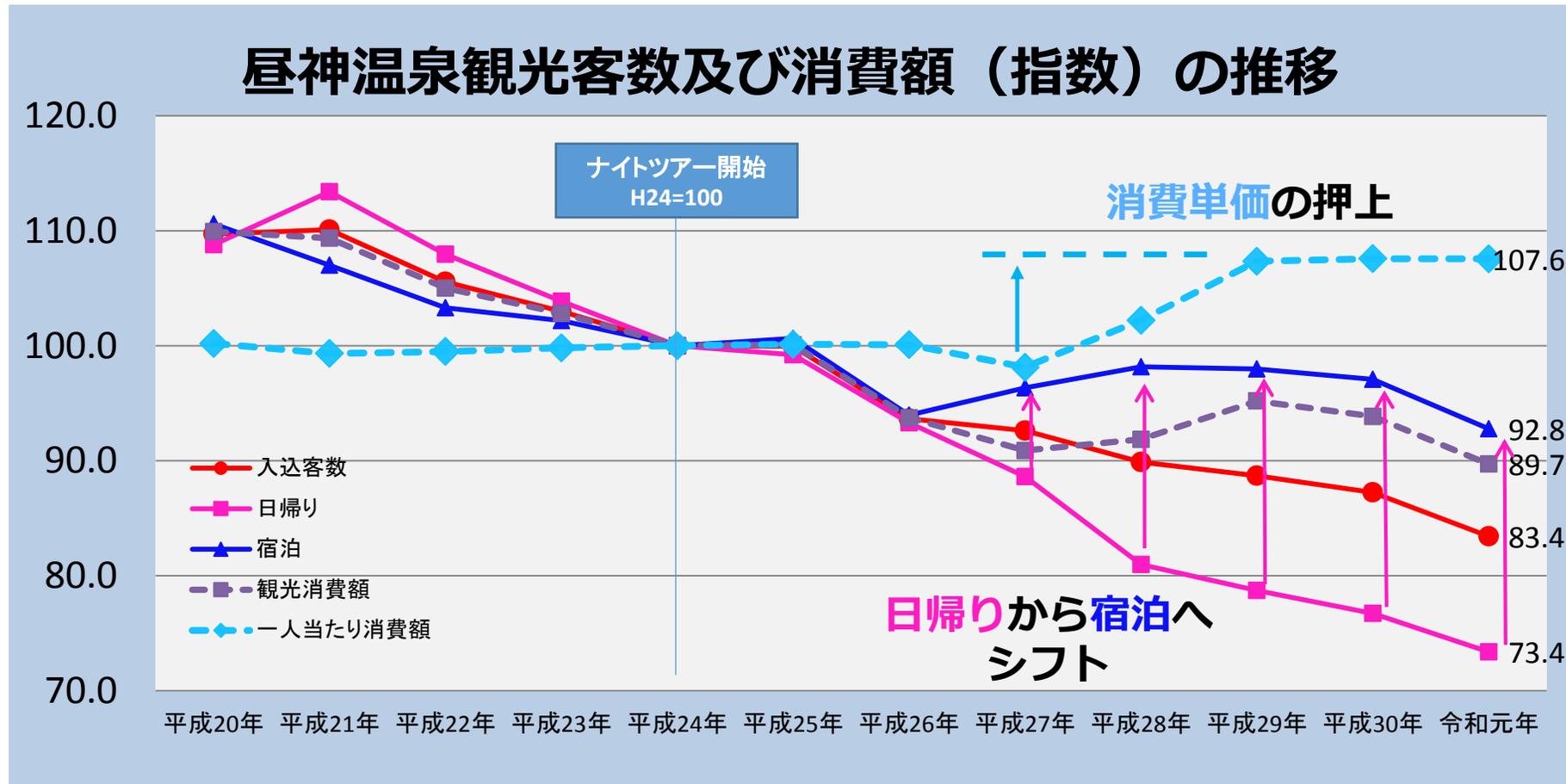
→→→「日本一」に加え「**世界一**」
の称号を獲得

＝世界へアピールする手段



第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

（参考）スタービレッジの効果



第2章 昼神温泉の現状（課題と**強み**）

2-5 昼神温泉浮上の光明：成功体験

③蒙開拓平和記念館

- 平成25年4月オープン
- 修学旅行や研修などの利用
見込みを大きく上回る来館者
- 阿智村来訪の目的化
→→→連携による誘客促進



第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

第3章 リニア新時代への備え

第4・5章 リニア新時代に目指す姿・戦略・視点・具体策

第6・7章 実現に向けた各主体の役割・推進体制・進め方

第3章 リニア新時代への備え

3-1 目前に迫る南信州の転換点

3-2 裏腹にある地域活力喪失等の懸念

3-3 潮流を捉えた的確・積極的な戦略の必要性

3-4 昼神温泉将来構想検討委員会による答申

3-5 集出荷直売施設に関する答申

3-6 リニア新時代に向けた将来構想の策定と位置づけ

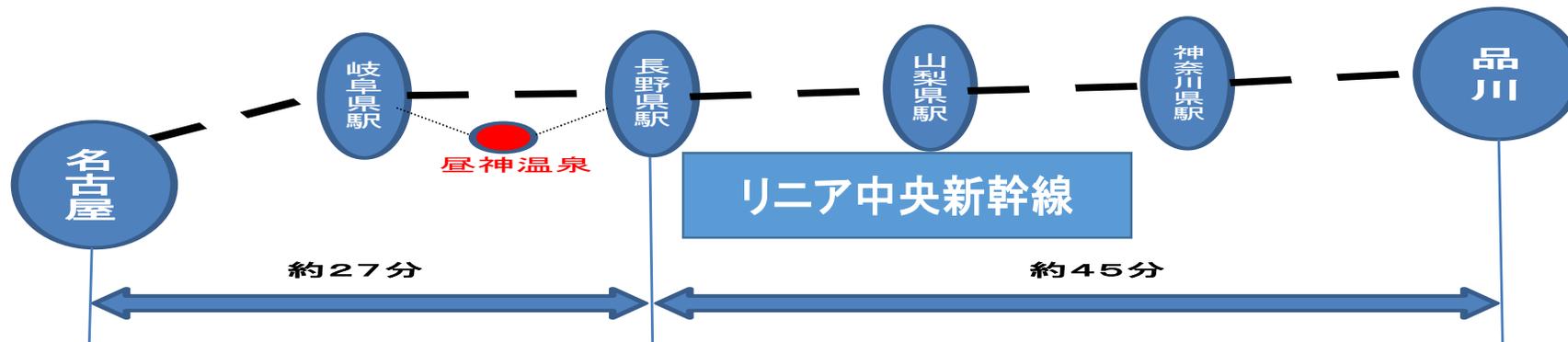
第3章 リニア新時代への備え

3-1~2 目前に迫る南信州の転換点

- ・高速交通網（リニア中央新幹線・三遠南信自動車道）
→→→人と物の動き激変させる千載一遇のチャンス

中央道の開通以来のインパクト

- ・メリットを最大限活かす
- ・地域活力減退の懸念



第3章 リニア新時代への備え

3-3~6 潮流を捉えた的確・積極的な戦略の必要性 通過地でなく目的地として「選ばれる存在」に

- 昼神温泉将来構想検討委員会答申（平成30年11月）
- 昼神温泉将来構想シンポジウム開催（令和元年9月）
- 集出荷直売施設に関する答申（令和2年1月）
- 昼神温泉将来構想2027(素案)公表・パブリックコメント
(令和2年2~3月)

「昼神温泉リニア新時代構想」策定（令和2年10月）

第3章 リニア新時代への備え

3-6 「昼神温泉リニア新時代構想」の位置づけ

- ・リニア開業により訪れる“リニア新時代”の姿を描く
- ・構想期間：2020～2029年度（令和2～11年度）



第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

第3章 リニア新時代への備え

第4・5章 リニア新時代に目指す姿・戦略・視点・具体策

第6・7章 実現に向けた各主体の役割・推進体制・進め方

第4章 リニア新時代に目指す姿

「世界に選ばれるHIRUGAMI ONSEN」

第4章 リニア新時代に目指す姿

「世界に選ばれるHIRUGAMI ONSEN」

「世界に選ばれる」とは？

- × 海外に照準を置き
多くの外国人観光客を呼び込む
- 世界に広く認知され
国内外問わず誰もが訪れたいと想われる
存在になる

第4章 リニア新時代に目指す姿

「世界に選ばれるHIRUGAMI ONSEN」

実現のための5つの戦略

- I 広域周遊・滞在型観光の起点・拠点化
- II リピート需要を誘引する魅力創出
（「もう一泊」「もう一度」）
- III 世界基準・世界水準の温泉郷運営
- IV 安心・安全の提供
- V 前衛的データ活用

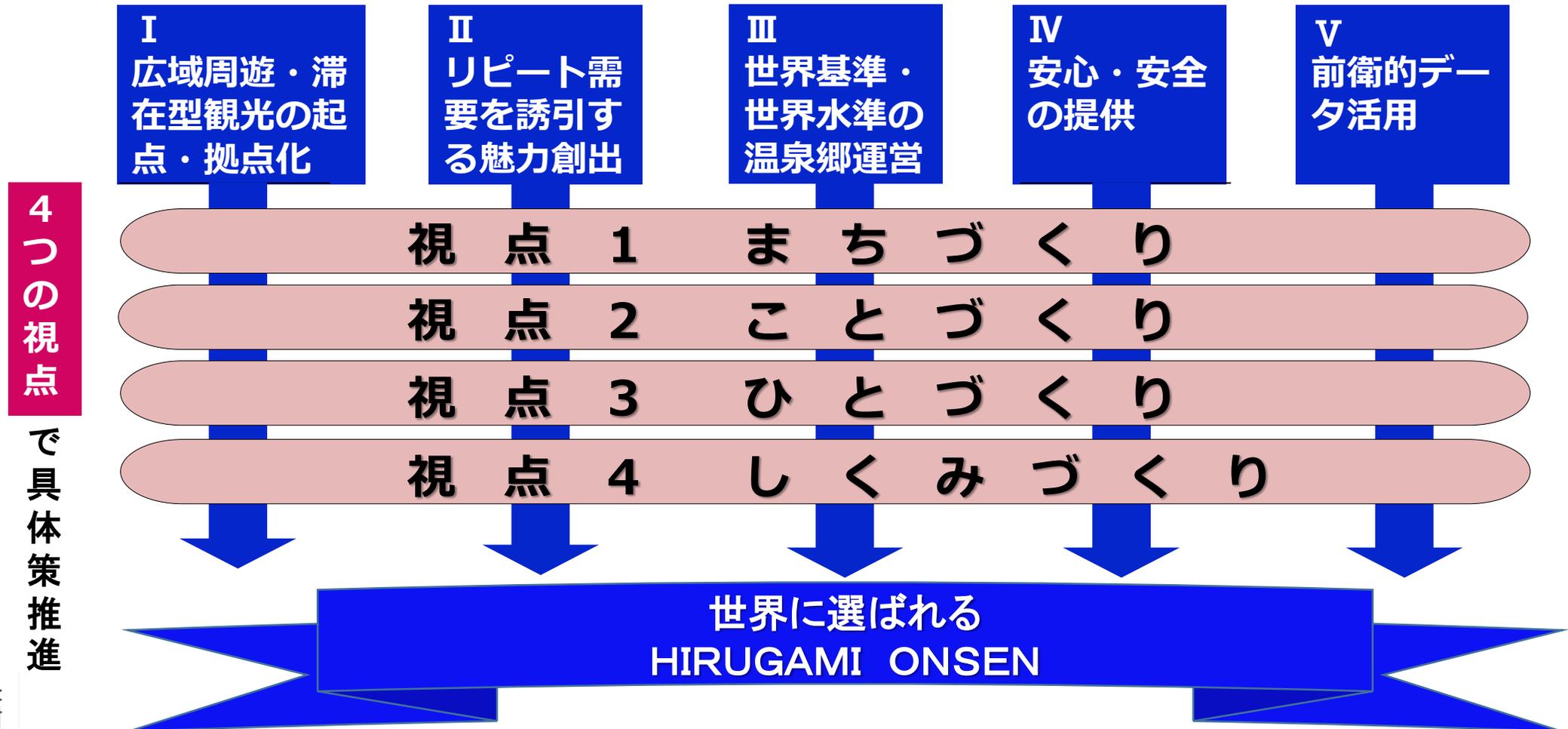
第4章 リニア新時代に目指す姿

昼神が目指す世界基準・世界水準とは？

- × 世界の高所得者層をターゲット
- × 高級宿泊施設の立地
- × 高価なサービスの提供
- 国の内外を問わず
- 全ての方々に分け隔て無く
- おもてなしの心による精一杯のサービス提供
- 世界に誇れる観光資源や取組による評価・認知

第5章 実現への具体策（4つの視点から）

5つの戦略を進める4つの視点



第5章 実現への具体策（4つの視点から）

視点1 まちづくり

戦略 視点	I 広域周遊・滞在型 観光の拠点・起点 化	II リピート需要を誘引する魅力創 出	III 世界基準・世界水準の温泉 郷運営	IV 安心・安全の提 供	V 前衛的データ活 用		
① まちづくり	アクセス確保	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線との結節（二次交通（バス路線）の確保 ・他の観光地・地域内へのアクセス（三次交通）の確保 ・各宿泊施設を巡るシャトルバスなどの導入 ・車両のクリーンエネルギー化 	<ul style="list-style-type: none"> ・だれにも解りやすい案内板（交通誘導・案内表示）の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界基準に配慮した開発、運営 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインの積極採用 ・環境配慮型施設・設備の導入、運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンモビリティの導入 ・自動運転車両の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩車分離、歩行者優先道路の検討 	来訪者の動向や人々の嗜好や関心事（GPSデータ、ネット検索、SNS分析等）の積極的・継続的分析等による戦略展開
	温泉街整備	<ul style="list-style-type: none"> ・中心地への交通ターミナル機能の集約（国道256号沿いの活用も検討） ・村所管施設等の機能見直し・再整備 ・観光局機能の効果的分散配置 ・サイクルツーリズムの中継地・拠点の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩き、そぞろ歩きを誘引する環境整備（四季（自然）・温泉らしさ・和の癒し等に配慮した景観、水辺（清流）を活かした風景、星空に配慮した灯りなど） ・中心部の賑わい創出（村所管施設の機能見直し・再整備、観光局の移転配置、朝市、産直市場、飲食店、カフェ、足湯、日帰り温泉等の機能の効果的配置、ランドマーク施設（温泉の駅（仮称））として一体運営） ・フォトスポットの効果的配置 ・電線等の地中化の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアオフィス、コアワーキングスペースの整備（リゾートテレワーク・ワーケーションの推進） ・コンベンション施設の設置 ・泊食分離への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の一時避難施設（コンベンション施設と兼用）の整備 		

第5章 実現への具体策（4つの視点から）

視点1 ことづくり(体験・コンテンツ)

戦略 視点	I 広域周遊・滞在型 観光の拠点・起点 化	II リピート需要を誘引する魅力創 出	III 世界基準・世界水準の温泉 郷運営	IV 安心・安全の提 供	V 前衛的データ活 用
② (体験・ コンテンツ ことづくり)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の観光地との連携推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存コンテンツの充実・次の事業展開 ・地域資源に着目した無二のコンテンツの開発・充実 ・繁忙期と閑散期のギャップ解消 ・地域食材を活用した食、ご当地グルメの提供 ・高品質・高付加価値のサービス・商品の提供、地元や県内需要の取り込みの促進(Withコロナ・Afterコロナ対応) ・プロスポーツクラブとの連携 ・優れた泉質に着目した美容・健康・福祉分野の展開 ・女性視点の企画・商品開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギネス世界記録の活用 ・ユニバーサルツーリズムの推進 ・弱者視点のコンテンツ・サービスの提供 ・周辺地域(木曾等)を訪れるインバウンドの宿泊地化 ・インバウンド向けのコンテンツ開発 ・多言語・他文化対応のサービス展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮したコンテンツ運営・提供 ・感染症予防策の徹底による新たな営業スタイルの確立(Withコロナ・Afterコロナ対応) 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者の動向や人々の嗜好や関心事(GPSデータ、ネット検索、SNS分析等)の積極的・継続的分析等による戦略展開

第5章 実現への具体策（4つの視点から）

視点1 ひとづくり

戦略 視点	I 広域周遊・滞在型 観光の拠点・起点 化	II リピート需要を誘引する魅力創 出	III 世界基準・世界水準の温泉 郷運営	IV 安心・安全の提 供	V 前衛的データ活 用
③ ひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光に対応できるガイドの養成 ・村内各地の観光資源を案内できるガイドの育成・組織化 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声や第三者機関による品質管理のしくみの活用による接客向上等 ・従業員一人一人、地域に住む一人一人のおもてなし意識の醸成・高揚 ・人材確保のための学生インターンシップの受入 ・地域の誇りや愛着の醸成、おもてなし意識の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう「心のバリアフリー」の推進 ・多様で柔軟な働き方改革、雇用環境の改善による幅広い人材の確保 ・外国語対応ができる人材確保・育成 ・国際インターンシップの積極的受け入れ、文化や言語の交流促進 ・基幹産業としての観光に対する住民理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者や従業員の意識の高揚による防災・危機管理機能・能力の強化・充実 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者の動向や人々の嗜好や関心事（GPSデータ、ネット検索、SNS分析等）の積極的・継続的分析等による戦略展開

第5章 実現への具体策（4つの視点から）

視点1 しくみづくり

戦略 視点	I 広域周遊・滞在型 観光の拠点・起点 化	II リピート需要を誘引する魅力創 出	III 世界基準・世界水準の温泉 郷運営	IV 安心・安全の提 供	V 前衛的データ活 用
④ し く み づ く り	<ul style="list-style-type: none"> ・MaaSの導入 ・送迎バスの共同運航（シャトルバス等） ・昼神温泉と村内や近隣観光地を結ぶ情報共有ネットワーク ・中心地拠点施設の一体運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等（写真・動画・ハッシュタグ・インフルエンサー活用等）による情報発信 ・訪れる度に増すお得感の創出（リピーター・インフルエンサーに対する特典） ・農観連携による安定した地域食材の供給や地産地消のしくみづくり ・女性目線による温泉地づくり ・利用者の声や第三者機関による品質管理のしくみの活用を通じた温泉郷全体の品質向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを踏まえた取組 ・CO2フリー電気等の積極的な採用、脱プラスチック、古紙のリサイクル、廃棄物の削減 ・地球環境保全に係る財源確保（ふるさと納税、クラウドファンディング等） ・環境保全プログラム等への協力・参加 ・先端設備・新技術の積極的な導入支援 ・農産物・米などの地域内調達 ・人材確保・育成、多様な働き方の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・危機管理対応の強化・充実（地域全体の避難のしくみの再構築） ・認証制度などによる感染予防策の徹底（Withコロナ・Afterコロナ対応） ・温泉地経営を揺るがす外的危機発生への公的支援のあり方の検討 	<p>来訪者の動向や人々の嗜好や関心事（GPSデータ、ネット検索、SNS分析等）の積極的・継続的分析等による戦略展開</p>

第5章 実現への具体策

温泉郷中心部（村所管施設等の機能）の再整備の方向性

鶴巻荘・湯ったりーな昼神・昼神観光センター等

- 老朽化による大規模な改修や設備更新
- リニア新時代を見据えた新たな機能の配備
- 昼神温泉のランドマークと認知されるような環境や機能
- 村民も訪れててもらえる癒し空間の創造

→→→温泉郷中心部の賑わいを創出

将来の需要の見極め、関係者間の十分な協議・合意形成

第5章 実現への具体策

「世界に選ばれる」ための選択

国連が提唱する持続可能な開発のための2030アジェンダ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第5章 実現への具体策

「世界に選ばれる」ための選択

SDGs (Sustainable Development Goals)

- 2015年(平成27年)9月の国連サミットにおいて全会一致で採択
- 2030年(令和12年)を年限とする17の国際目標
- 「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す

温泉全体で共有・推進 その先進地として認知

→→→世界基準・世界水準の温泉郷

第1章 昼神温泉の半世紀の歩みと将来への期待

第2章 昼神温泉の現状（課題と強み）

第3章 リニア新時代への備え

第4・5章 リニア新時代に目指す姿・戦略・視点・具体策

第6・7章 実現に向けた各主体の役割・推進体制・進め方

第6章 実現に向けた各主体の役割・推進体制

6-1 実現に必要な意識と行動

6-2 推進体制（推進組織の設置）

第6章 実現に向けた**各主体の役割**・推進体制

6-1 実現に必要な意識と行動

▪ 他力本願では実現不可能

× 村任せ × 観光局任せ × 事業者任せ

○ 昼神温泉に関わる全ての者の主体的行動
意識共有、役割自覚、主体的・積極的取組

→→→ 複層的取組の相乗効果で大きく、確かな潮流

第6章 実現に向けた各主体の役割・**推進体制**

6-2 推進体制（推進組織の設置）

昼神温泉リニア新時代構想推進委員会

構成：村議会、旅館経営者会、商工会、金融機関、
交通事業者、周辺事業者、地域住民、
県、観光局、村（事務局） その他関係団体 など

第7章 事業の進め方・スケジュール

7-1 計画的・効果的な事業進捗

7-2 温泉郷中心部の再整備スケジュール

第7章 事業の進め方・スケジュール

7-1 計画的・効果的な事業進捗

- 構想期間(令和2~11年度)に訪れるポイントに着目
- 2023年(令和5年) = 温泉出湯50周年の節目
→→→ 昼神温泉出湯50周年記念事業
- 2027年(令和9年)? = リニア開業
→→→ リニア中央新幹線開業記念事業

第7章 事業の進め方・スケジュール

7-2 温泉郷中心部の再整備スケジュール

・リニア開業＝タイムリミット

→→→猶予期間はわずか

→→→早急な整備計画の検討・合意形成
基本設計・実施設計・各種手続き

おわりに

- 記載した具体策等はいずれも未完成
(抽象的なもの、検討の余地が残るもの など)
- 課題の自分事化・議論喚起のための問題提起でもある

今後の検討・合意形成等の手続き



推進組織において進捗
(昼神温泉リニア新時代構想推進委員会)

おわりに

日本中、そして世界中から
観光客で賑わい合う
10年後の昼神温泉郷の姿を思い

阿智家族の総力を挙げて
共に進みましょう

おわりに

ご静聴ありがとうございました